

## 予算決算委員会文教厚生分科会 会議録

- 1 期 日  
令和5年6月23日（金）
- 2 会 場  
全員協議会室
- 3 開会時刻  
午前 9時30分
- 4 閉会時刻  
午後 10時33分
- 5 出席者  
【議会】  
主 査 寺田 幸弘      副主査 安田 彰  
委 員 鷺山 記世      委 員 富田 まゆみ  
    "    勝川 志保子      "    松浦 昌巳  
    "    山本 行男  
【当局】  
健康福祉部長、こども希望部長、教育部長、所管課長  
【事務局】  
議事調査係 石山 楓
- 6 審査事項  
・議案第54号 令和5年度掛川市一般会計補正予算（第2号）について  
（文教厚生分科会送付分）
- 7 会議の概要  
別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和5年6月23日

市議会議長 山本 裕三様

予算決算委員会文教厚生分科会 主査 寺田 幸弘

## 7 会議の概要

令和5年6月23日（金）午前9時30分から、全員協議室において全委員出席のもと開催。

(1) 開会 午前9時30分

(2) 送付案件審査

◆ 議案第54号 令和5年度掛川市一般会計補正予算（第2号）について議案

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第3款 民生費

歳出中 第4款 衛生費（第1項）

歳出中 第10款 教育費

---

【説明・質疑】

[健康医療課説明 9:33～9:35]

●原田課長  
(説明)

[質疑 9:35～9:52]

○勝川委員

本当に接種しようしているのか。翌日の予約ができた。国の予算がついているが、接種が進んでいるのか。見込みとして予算を立てているが、去年と同じ感じか。

●原田課長

春開始接種は、リスクの高い方と対象者が限られている。集団接種の予約割り当ては75歳以上。キャンセルも多く出ているのが現状。以前と比べると、人数が減っている。今後集計が出てわかってくる。

○勝川委員

重症化リスクは減っているが、感染拡大している。接種券が来ていて、やりすぎた方たちに、予約をしましょう、という干渉の通知がいかない。きちんと追いかけるのか。

●原田課長

すでに通知が来ている方には通知がいかない。HPやラインで呼びかけている。接種券がない方には再発行する。今後も呼びかける。学校からの感染報告もあるので油断はできないが、初回接種も夜間に行っている。対応もしているので、今後も周知していく。

○勝川委員

追いかけて丁寧にしてほしい。

○富田委員

2点ほどあるが、1点目。勝川委員が質問した接種はどのくらい進んでいるのか。最新の一番直近のところまでで接種率を出していただきたい。

●原田課長

6回目の接種率は、国が8.06%、県が8.33%、掛川市が8.31%。県並み。

○富田委員

5回目はどうか。

●湯澤係長

5回目は、県が25.9%、掛川市が27.2%。

○富田委員

高齢の方が多く、若い方が少ないのか。

●原田課長

高齢のほうが多い。

○富田委員

個別接種回数が多い医療機関への支援の内容は。

●原田課長

接種回数が 100回以上になる週が 4週以上になる場合、接種回数に 2,000円を乗じた金額を支給する。今までは県がやって、これからは市。

○勝川委員

なんで県ではなく市になったのか。結構な手間がかかりそう。

●原田課長

なぜ市になったのかは、県から言われていない。

○松浦委員

業務委託のことで伺いたい。長い期間の接種期間になるが、以前の業者さんはいろいろ問題があったということで、それ以降の業務委託に関して、お名前を聞かせていただければありがたい。あと、どれくらいの期間で委託を更新しているのか。

●原田課長

今年度は、近畿日本ツーリストに 1年間で委託、コールセンター業務と集団接種の運営事務を委託している。4月当初から始まっていたので、4月当初の契約となっている。今、春開始接種は集団接種と個別医療機関をやっているが、大きな市町では集団接種をやめているところがあると聞いているので、今後の運営については、医師会の先生方と協議しながら、接種方法を決めていきたいと思う。

○勝川委員

コールセンターも、近畿日本ツーリストがそのままやっているのか。

●原田課長

はい。今問題になっているコールセンターは昨年度までのこと。場所が県内の離れている場所にあったが、今年度からは徳育保健センター内で業務をしてもらっている。人数や業務の状況が確認できる状態。去年とはやりかたを変えている。契約を解除すると、予約システムが使えなくなってしまうため、解約できない。

○山本委員

いたし方ない。他市も、引き続き近畿日本ツーリストに委託し続けているのか。

●原田課長

ほかの市町も継続していると聞いている。

○山本委員

アプリの接種証明書の更新がないが、個人接種でやった場合、時間がかかってしまうと聞いた。この事業はまだ進めているのか。

●原田課長

事業は進めているが、更新がなかなかされない場合もある。

○山本委員

どこでやっているのか。

●原田課長

厚労省のアプリ。

○山本委員

国がデータを打ち込んでいるのか。

●原田課長

接種した情報を医療機関が入力し、国がとりまとめている。打った医院さんによって、遅れてしまう場合もある。

○山本委員

各病院になるべく早く出すよう通達し、徹底をお願いしたい。

○富田委員

集団接種の会場は。

●原田課長

徳育保健センター、大東保健センター、大須賀市民交流センター。

[福祉課説明 9:53~9:55]

- 福祉課長  
(説明)

[質疑 9:55~10:01]

- 富田委員

全額国から出るといっても、なんとかならないか。委託にかかる手数料はこれ以上上がることはないか。

- 水野課長

新たな制度ができると、全国統一されたシステムが開発される。それを掛川市バージョンに編集し使う。新たなシステムのほうがミスを防げるため追加している。

- 山本委員

7,000世帯のうちで、今回気づかなかった世帯は。

- 水野課長

ここ3年では7,000~8,000世帯が対象としてリストアップしている。実際に確認書を送り申請いただいているのが6,500。9割は返事があるが、1割はない。

- 勝川委員

1割は申請しない原因は追いかけているか。

- 水野課長

返事がない場合は追加で送っているが、帰ってこない。実際は非課税世帯として出しているが、本人なりに余裕があるのか、国の給付金は望んでないのか、何度か案内はしているが反応はない。

- 鷺山委員

その1割の中には母国語が日本語でない方もいらっしゃると思うが、その方に対しては、ちゃんとその方の国の言葉で書面を作成しているとか、そういった工夫はされているのか。

- 水野課長

案内については、英語バージョンを送らせてもらっている。コールセンターや問い合わせ先はポルトガル語もあるので、通訳の方よりお話をさせていただいている。ちなみに、昨年やった5万円の給付で、外国人の方は約450名申請を受け付けているので、ほぼ申請できていると感じている。

[こども希望課説明 10:02~10:03]

- こども希望課長  
(説明)

[質疑 10:04~10:05]

- 勝川委員

保護者負担分の12パーセントの数字の根拠は。2月の予算の時期に12パーセントと算出をしたと思うが、今も変更はないということか。

- 石田課長

委員のおっしゃるとおり、物価の高騰は顕著だと思っている。昨年、8パーセントの給食費の補助をやったが、その時(令和4年の後半)から、令和5年度まで食料品の高騰は顕著に表れていると思う。ただ、令和5年度の学校給食費の改定、12パーセント相当分をとということで先ほど説明させていただいたが、こちらについては、根拠として、コロナ前とコロナ後の物価上昇の差を補助するというので、きっちりした率かと思うので、今回、公平性という意味もあり、こちらのパーセンテージを使わせていただいている。

[こども給食課説明 10:06~10:08]

- こども給食課長  
(説明)

[質疑 10:08~10:18]

- 勝川委員  
金額の返し方を詳しく。
- 高塚課長  
給食費は小学校の場合毎月 5,000円を徴収し、食数に合わせ 2月に清算をしている。減免の方法としては、8月の徴収を停止し、2月に清算する予定である。
- 勝川委員  
毎年 8月は給食費を払っていた分を引き落とさなくなる。その周知方法は。
- 高塚課長  
学校を通じ、お便りまたはきずなネットで周知する。
- 寺田主査  
53万 9,000円に対する質問にしてほしい。
- 勝川委員  
説明資料だけでなく、議案質疑をしている。
- 鷺山委員  
通知に関しては、個別に聞いてほしい。
- 山本委員  
勝川委員のおっしゃるとおり。
- 勝川委員  
大変な物価高騰が起こっている中で、その分の補填をする必要はないのか。まだ残がある。
- 高塚課長  
今回の交付金の目的は、物価高騰に影響を受ける子育て世帯を支援するもので、栄養量や栄養バランスを維持するのが難しくなったため増額改定した学校給食費の改定分に充てることは、交付金の目的に合致している。交付金の残の用途は、今後、財政課が庁内で調整すると思う。

【委員間討議】 [10:18~10:32]

- 勝川委員  
ワクチン接種の事業について、あつてはならない委託業務の問題が起きた。市民の皆さんにとっても何をやっているのだと大きな怒りを持たざるを得ない、市民の信頼を失墜させるような事柄になっている。コロナの接種事業もそうだが、福祉課の行う給付金事業についても委託事業である。委託業務に関しては、いくら国費であっても公金の使われ方が適正になるような、自治体が窓口として不正に対しての歯止めにならなければいけない。監視の目であったり、委託業務への監督であったりをきちんとし、その上で進めてほしいと強く思う。
- 寺田主査  
ワクチン接種の委託業務について、嘘の申請をしたことが非常に問題になっている。掛川市でも業務停止になっている。委託業務は慎重にしないといけないという御意見でした。
- 山本委員  
委託に関しては、ほとんど目が通らなかった。勝川委員がおっしゃるとおり。委託の部分は、大変多い。1回やってしまうとずっと続くようなこともあるので、その議論が必要。そこを注視して見ていくべき。
- 富田委員  
4月から始まっているということなので 1年間は仕方がない。不正を起こさせないためにも、ほかの業者でもできることであれば、変えていくことも視野にいれる必要がある。
- 勝川委員

入札停止の業者が、そのまま続けていると皆さんは思っていましたか。1回停止になって良かったと思えましたよ。そうではなかったということですよ。反省していると言っているが、そこにお金が流れている。契約のやり直しをしなければいけないほど大きな事案だったと認識している。そういう意見が出たことは、審査の過程で伝えてほしい。

○山本委員

庁内では、変えるか変えないかの議論があったはず。それだけのものがすぐに確保できなかったからいたしかたないという結論だったと思う。苦渋の選択だったのかなと思う。そういう意味では今後もチェックをするべき。

○勝川委員

福祉課の給付金事業について、今までもコロナの対応で給付金事業をしてきた。住民税非課税1割弱の方々を対象にしてやっても、その1割が申請をしない状況は、理由がはっきりしないということだが、申請型の給付金事業が持っている問題だと思う。必ずシステム開発が必要で委託料がかかって、すごいお金をかけて、やっと一部の方にだけ給付される。これを繰り返しているが、この制度の在り方、お金の使い方に問題がある。プッシュ型のものと違い、申請型になっているものは、今後検証していただきたい。

○松浦委員

非課税世帯が7,000世帯もあることに驚いた。掛川市46,000世帯くらいのうち、7,000世帯が非課税なのはかなりの率だと思う。文教厚生委員会としては、根底にあるものを探っていきたいと思う。

○寺田主査

福祉課の給付制度について、そのほかありますか。

○勝川委員

給食費の問題について。2月に給食費の保護者負担分を上げてしまった。上げなかった自治体が県内はほとんどの中で上げたということで、上げなかった自治体に聞いてみると、物価高騰対策の交付金を使って、補填をきちんとしている。最初の段階で、ふるさと納税や、財政調整基金だったり、基金の取り崩しをしたりしながら、財源を作って補填していたので、その分が国からの交付金でそのまま財源の付け替えがされただけで済んだ。値上げをしておいて返金するというかたちは、本当によかったのかということをも市の当局には考えてほしい。4月の物価が上がっている時に集金してしまっているの、8月に返すと言っても4ヶ月間は12パーセント上げた額での集金である。保護者の子育て支援という観点からみてどうだったのか、私たちもそれを通した訳ですから、反省すべきだと思う。12パーセントについても、これで終わらないと思う。来年財源がなくなったら、保護者負担がまた上がるわけですよ。物価高騰対策の再補填を考えるべきではないかと思う。

○寺田主査

値上げを決めたのに返金をするということに対し、いかがなものかというご意見。そこに課題があったのではないか、別の方法があったのではないかというご意見。これに対して。

○山本委員

私はその逆だと思っている。よくやってくれたという考えをしている。勝川委員議員が言ったように、今年度1年で来年度の保証はない国の制度なので、いつかはやらないといけないこと。掛川市はそこを見込んで負担をお願いしたと思う。私立もよくつけてくれたと評価する。来年度以降は、どうなるか分からないが、また国から出る保証はない。

○勝川委員

私もつけたことは評価している。補填がされたことは大いに評価した上で、その前の部分がどうだったのかは話し合ってもいいのではないかという考えです。

【論点整理】

○寺田主査

ワクチン接種の委託業務対してのあってはならない課題について。

福祉課の給付のあり方について。  
給食費の値上げについて自治体の在り方について。  
予算決算委員会で報告させていただきます。

【意思決定】

○寺田主査

議案第54号については、「原案は妥当」でよろしいか。  
(「異議なし」の声)

○寺田主査

全会一致にて、「原案は妥当」とすることに決定しました。

(3) その他

特になし

(4) 閉会

10時33分